

内容は、ソフトウェア開発の構成管理とは、構成管理のパターンカタログ、そして各ソースコード管理ツールの比較。ちなみに、構成管理といっても、この本の中心はソースコード管理であり、その他開発環境にはほとんどふれていません。

パッケージやシステムの開発経験者には普通の内容です。ただ、こういう裏側の仕組みは一般企業の管理者や企画のような非開発者には見えないところなので、そういう人と開発について議論するときには役立つかもしれません。

SCM用語を統一する意味で、パターン名カタログとして重宝すると思います。また、比較しているSCMもCVS以外は商用製品なので、そういう面では目新しいかもしれない。(subversionがないなど、今となっては対象は古いけど)